

地域安全マップで防犯活動

立正大学犯罪社会学研究会 副会長 渡邊 芽惟

全国の小学校で展開

突然ですが「不審者」を頭に思い浮かべてみてください。手元に紙があれば絵を描いていただいても構いません。……描きましたでしょうか。では、その「不審者」はサングラスを掛けていますか？マスクをしていますか？黒い帽子や黒い服を着ていませんか？

「見つけた！あそこにいる黒い服のおじさん！誰かが言い出すとみんなもそつて同意する。」

「それでは、聞いて見ましょう。…あなたは不審者ですか？」

「冒頭部分で、あなたが生であつたり、教育委員会のものであつたりと様々だが、もちろん不審者ではない。」

「すると再び小宮先生が導員として何度も参加している。この小宮先生の台詞を聞き一斉に振り向く小学生は、講義の關係

者やゼミの学生などの周りの大人から「不審者」を我先に見つけ出そうと躍起になった。

「見つけた！あそこにいる黒い服のおじさん！誰かが言い出すとみんなもそつて同意する。」

「それでは、聞いて見ましょう。…あなたは不審者ですか？」

「冒頭部分で、あなたが生であつたり、教育委員会のものであつたりと様々だが、もちろん不審者ではない。」

「すると再び小宮先生が導員として何度も参加している。この小宮先生の台詞を聞き一斉に振り向く小学生は、講義の關係

者やゼミの学生などの周りの大人から「不審者」を我先に見つけ出そうと躍起になった。

「見つけた！あそこにいる黒い服のおじさん！誰かが言い出すとみんなもそつて同意する。」

「それでは、聞いて見ましょう。…あなたは不審者ですか？」

「冒頭部分で、あなたが生であつたり、教育委員会のものであつたりと様々だが、もちろん不審者ではない。」

の出番である。いくつかの班に分かれ、実際に町に出て先ほどの講義で学んだ「入りやすく・見えにくい場所」を探している。その時、私は自分から率先して危険な場所を教えるのではなく、子供たちが自分自身で気が付いてくれるのを待つのだ。

そして、学校に帰ってから折り紙や模造紙を使って地域安全マップを完成させる。すると作製が終わった子供たちがまだ何やらコソコソと作業をしていた。

「何していいの？」と尋ねてみると「内緒だから来ちゃ駄目！」と言われてしまった。暫しのショックを感じたが最後のお別れの際のそれが喜びに変わった。先ほど「来ちゃ駄目」と言った子供達から折り紙にメッセージを書いた手紙を渡されたのである。手紙の内容は私の似顔絵と共に「今日はマップを教えてくださいありがとうございます。」や「家に帰って皆に教えてあげます」といったものであり、中でも「見えない場所だからだよ」というのが私に響いた。

「見つけた！あそこにいる黒い服のおじさん！誰かが言い出すとみんなもそつて同意する。」

「それでは、聞いて見ましょう。…あなたは不審者ですか？」

「冒頭部分で、あなたが生であつたり、教育委員会のものであつたりと様々だが、もちろん不審者ではない。」

「すると再び小宮先生が導員として何度も参加している。この小宮先生の台詞を聞き一斉に振り向く小学生は、講義の關係

「見つけた！あそこにいる黒い服のおじさん！誰かが言い出すとみんなもそつて同意する。」

「それでは、聞いて見ましょう。…あなたは不審者ですか？」

「冒頭部分で、あなたが生であつたり、教育委員会のものであつたりと様々だが、もちろん不審者ではない。」

「すると再び小宮先生が導員として何度も参加している。この小宮先生の台詞を聞き一斉に振り向く小学生は、講義の關係

「見つけた！あそこにいる黒い服のおじさん！誰かが言い出すとみんなもそつて同意する。」

「それでは、聞いて見ましょう。…あなたは不審者ですか？」

「冒頭部分で、あなたが生であつたり、教育委員会のものであつたりと様々だが、もちろん不審者ではない。」

「すると再び小宮先生が導員として何度も参加している。この小宮先生の台詞を聞き一斉に振り向く小学生は、講義の關係